☆青空の子どもたち☆　　横浜市立中丸小学校

学校だより１１月号

令和８年１０月３０日

かがやけ！はとりんファイヤー

校　長　　西口　公恵

１０月２５日（日)、「かがやけ！はとりんファイヤー」のスローガンのもと、中丸オリンピックが開催されました。当初の予定から日曜日に順延となりましたが、保護者の皆さま、ご来賓の皆さまには多数ご来場いただき、誠にありがとうございました。皆さまからの温かい声援と拍手の中、子どもたちはもてる力を存分に発揮することができました。また、長谷川会長をはじめ PTA 本部、各委員会の皆さまには準備や当日の受付等運営面で多大なるご協力をいただきました。終了後の片付けにも多くの保護者の皆さまや卒業生の皆さんにお手伝いいただき、おかげさまで無事に全行程を終えることができました。心より感謝申し上げます。

昨年度に引き続き、今年も赤白対抗戦で全校が一丸となって熱く燃える一日となりました。二人の応援団長や最高学年である６年生の力強いリードのもと、赤も白も優勝目指して全力で取り組みました。実は、子どもたちの熱い思いは予行練習の段階から感じていました。全校で校庭に集まっても私語をすることなく、話す人にしっかりと視線を向けて話を聞く姿が見られました。その真剣なまなざしはとても印象的でした。整列や行進の練習では、指先や目線、足の上げ方について教師の一言ひとことに耳を傾け、全員が真剣に取り組んでいました。その姿を見ていると、まだ本番前であるにもかかわらず、胸が熱くなりました。「ひたむき」という言葉は、まさに中丸の子どもたちのためにあるのではないかと思ったほどです。集団としての動きは一人ひとりの気持ちがそろって初めて美しくまとまります。並ぶためには真っすぐに並ぼうとする気持ちがなければ整列はできません。行進の歩調を合わせるためには、音楽をよく聞き心を一つにリズムを共有することが必要です。中丸の子どもたちがもつ集団の力とひたむきに努力する姿勢を改めて実感しました。

そして迎えた本番当日。仲間に向かって大きな声で声援を送る姿、相手のチームの健闘を称え拍手を送る姿、最後まであきらめない姿が校庭いっぱいに広がりました。何より印象的だったのは、一人ひとりが自分の出番を心待ちにし、嬉しくて楽しくて仕方がないという表情で演技や競技に臨んでいたことです。その生き生きとした笑顔を見ているだけで私自身も幸せな気持ちになりました。中丸小学校の皆さん、今年も素晴らしい中丸オリンピックをありがとうございました。

中丸オリンピックも無事に終わり、学校では再び日常の学習や生活が始まっています。この行事を通して培った「心を一つに皆で力を合わせる経験」をこれからの学校生活に生かしていけるよう、教職員一丸となって教育活動に取り組んでまいります。１１月もどうぞよろしくお願いいたします。